

取扱説明書

つなぎかたガイド

接続・設定するときにお読みください

AR-GX621A1(KP)

AR-GX621A1(KC)

NWA-A11779-002-00

2024年3月

QRコード

技術基準適合認証証

ユーザーズマニュアル

は製品サポートページに掲載の「ユーザーズマニュアル」を参照してください。(※下記「本商品の取扱説明書について」)

★本書では、無線 LAN アクセスポイントを親機、無線 LAN 端末を子機と呼びます。

重要

本商品をご利用になる前に、必ず、裏面の「自動バージョンアップ機能・保守サービス機能に関する許諾について」をお読みください。

バージョンアップ中は、POWER ランプが点灯しますので、絶対に本商品の電源を切らないでください。
※バージョンアップ中は、本商品に接続している端末との接続は切断され、数分間インターネット通信などができなくなります。

このたびは Aterm GX621A1 をご利用いただき、まことにありがとうございます。
Aterm GX621A1(以下、本商品と呼びます。)は、Draft IEEE802.11ax、IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11b の無線 LAN 規格に準拠した、IPv6 対応の Wi-Fi (無線 LAN) 機器です。また、メッシュネットワークのメッシュ親機として使用でき、設定すればメッシュ中継機としても使用できます。
なお、工場出荷状態で、Aterm GX621A1(KP)はメッシュ親機、Aterm GX621A1(KC)はメッシュ中継機の設定になっています。
※メッシュ機能に対応したすべての装置との互換性を保証するものではありません。

箱の中身を確認する

不足しているものがありましたら、お問い合わせ先にご連絡ください。

＜添付品＞

☐ GX621A1(KP) または GX621A1(KC)

POWER 緑点灯

ACアダプタ

LAN ケーブル
(カテゴリ 5e ストレート)

つなぎかたガイド (本書)

※商品名は本体のラベルに記載されています。

本商品の取扱説明書について

本商品の取扱説明書は下記のように構成されています。(2024年3月現在)

■つなぎかたガイド (本書)

基本的な接続(パターン)を例にして、インターネットが使えるようになるまでの接続・設定手順を説明しています。また、ご使用前に確認していただきたい注意事項、トラブルシューティングも記載しています。

■ユーザーズマニュアル (Web サイトに掲載)

本商品のさまざまな機能を利用してできることを、わかりやすい操作・設定手順で説明しています。また、本商品の基本事項についても記載しています。
→ 右記 QR コードまたは下記から参照してください。
製品サポートページ (https://www.aterm.jp/kddi/gx621a1/)

各部の名称

GX621A1(KP) または GX621A1(KC)

ACTIVE ランプ
(通信状態表示)

Wi-Fi ランプ
(Wi-Fi 通信状態表示)

MESH ランプ
(メッシュ Wi-Fi 通信状態表示)

OPTION ランプ
(保守サービス状態表示、
親機・子機状態表示)

SET ボタン
(WPS 設定時に使用。)

LAN ポート
(LAN ポート状態表示)

LAN ランプ
(LAN ポート状態表示)

WAN/LAN ポート
(WAN/LAN ポート状態表示)

WAN/LAN ランプ
(WAN/LAN ポート状態表示)

ACアダプタ接続コネクタ

RT/BR/MA モード切替スイッチ
本商品の動作モードを切り替えるときに使用。工場出荷状態は GX621A1(KP) は BR 側、GX621A1(KC) は MA 側。
・MA: メッシュ中継機またはメッシュ機能を利用しない中継機/子機
・BR:ブリッジモード
・RT:ルーターモード

保守ボタン
・保守用のボタン。通常動作中は使用しません。
・メッシュ機能を利用しない中継機/子機に動作モードを切り替えるときに使用。

RESET スイッチ
初期化するとき使用。

POWER ランプ (電源)

〈前面 (表)〉

〈後面 (背)〉

お問い合わせ先

ご契約のプロバイダのお客様窓口へご連絡ください。

設置・接続をはじめる前に

事前に準備してください

本商品をより安全にお使いいただくため、本商品の管理者パスワードと暗号化キーを決めて、控えておいてください。(STEP4 で設定します。)

【管理者パスワード】

管理者パスワードとは、本商品の設定画面を開く際のパスワードです。工場出荷状態では本商品本体のラベルに記載された英数字 8 桁のパスワード (Web PW) となりますが、本商品をより安全にお使いいただくため、STEP4 にて任意の文字列を設定します。あらかじめ決めて、下記の「管理者パスワード控え欄」に控えておきましょう。
※英大文字小文字、数字、記号を組み合わせた 10 桁以上の文字列をお勧めします。
※「Aterm ホームネットワークリンク」を利用する場合は、管理者パスワードを 8 桁以上に設定してください。
※名前や生年月日、同一数字など、他人に推測されやすい文字列の使用は避けてください。また、複数の機器やサービス間での使い回しはしないでください。
※使用できる文字は、0～9、a～z、A～Z、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) で、最大半角 64 桁まで有効です。

管理者パスワード控え欄

【暗号化キー】

暗号化キーとは、Wi-Fi 接続するためのパスワードです。セキュリティ キー、パスフレーズ、ネットワーク キーとも呼ばれます。工場出荷状態では本商品本体のラベルに記載された値となりますが、本商品をより安全にお使いいただくため、STEP4 にて、任意の文字列を設定します。あらかじめ決めて、下記の「暗号化キー控え欄」に控えておきましょう。
※英大文字小文字、数字、記号を組み合わせた 13 桁以上の文字列をお勧めします。
※名前や生年月日、同一数字など、他人に推測されやすい文字列の使用は避けてください。また、複数の機器やサービス間での使い回しはしないでください。
※使用できる文字は、8～63 桁の半角英数字記号 (0～9、a～z、A～Z、記号「ユーザーズマニュアル」)、または半角 64 桁の 16 進数 (0～9、a～f、A～F) です。
※メッシュ中継機またはメッシュ機能を利用しない中継機/子機として使用する場合は、STEP4 で暗号化キーの変更は不要です。

暗号化キー控え欄

既存の親機と入れ替える場合は
既存の親機を取り外したあと、STEP1 → STEP2 → STEP3 → STEP4 の順に進みます。

ブリッジモードで使用の場合は
GX621A1(KP)は工場出荷状態でブリッジモード (BR) の設定になっています。STEP1 → STEP2 → STEP3 → STEP4 の順に進みます。

メッシュ中継機として使用する場合は
GX621A1(KC)は工場出荷状態でメッシュ中継機の設定になっています。右記「メッシュネットワークを構築する場合」を参照してください。

メッシュ機能を利用しない中継機/子機として使用する場合は
裏面の「メッシュ機能を利用しない中継機/子機として使用する場合は」を参照してください。

STEP 1

GX621A1(KP)を設置して電源を入れよう

※本書では、無線 LAN 端末を子機と呼びます。

※前後左右 5cm、上 5cm 以内の他の機器や壁などがない場所に設置してください。

GX621A1(KP)

BR 側のままにしておいてください。

LANケーブル (添付品)

インターネット

ホームゲートウェイなど

カチッと音がするまで差し込んでください。

ACアダプタ接続コネクタ

1 パソコンの電源を切る

すでにインターネット接続している環境の場合は、ホームゲートウェイなどに接続しているパソコンの電源を切り、パソコンから LAN ケーブルを外します。

2 ホームゲートウェイなどの電源を切る

＜ホームゲートウェイの例＞
CATV モデム、ONU、ひかり電話対応ルータなど

3 GX621A1(KP)の WAN/LAN ポートとホームゲートウェイなどを LAN ケーブルで接続する

4 ホームゲートウェイなどの電源を入れる

5 GX621A1(KP)の電源を入れ、約 40 秒待つ

AC アダプタを GX621A1(KP)と電源コンセントに接続すると、GX621A1(KP)の電源が入ります。いったん前面および側面 (表) のすべてのランプが緑点灯します。正常動作するまで約 40 秒お待ちください。

警告

● AC アダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

● AC アダプタをコンセントに差し込んだ状態で、AC アダプタに強い衝撃や無理な力を与えたり、ねじったりしないで、まっすぐ抜き差ししてください。火災、感電、故障の原因となります。

● ACTIVE ランプが速い緑点滅をしている場合は
→ 動作モードの自動判定中です。しばらくお待ちください。

● Wi-Fi ランプが緑点滅している場合は
→ 電波干渉を避けるためにチャンネルをサーチしています。さらに約 60 秒お待ちください。

6 GX621A1(KP)の POWER ランプが緑点灯、ACTIVE ランプが緑点灯、Wi-Fi、WAN/LAN ランプが緑点灯または緑点滅することを確認する

POWER 緑点灯

ACTIVE

Wi-Fi

Wi-Fi 緑点灯または緑点滅

※WAN/LAN ランプが点滅している場合は、LAN ケーブルの接続状態やホームゲートウェイなどの電源を確認してください。

WAN/LAN 緑点灯または緑点滅

RESET

続いて、工場出荷状態の GX621A1(KP) に、ご利用の子機から Wi-Fi 接続します。STEP2 へお進みます。
※GX621A1(KP)に有線接続する場合は、GX621A1(KP)と端末 (パソコンなど) の電源を切った状態で GX621A1(KP)の LAN ポートに端末を接続したあと、両方の電源を入れて約 40 秒待ち、STEP3 → STEP4 の順に進みます。

STEP 4

セキュリティを強化しよう

★本書では、無線 LAN 端末を子機と呼びます。

本商品をより安全にお使いいただくために、管理者パスワードと暗号化キーは、初期値 (工場出荷状態の値) から変更してください。複雑で長い文字列にして、安全性を高めることをお勧めします。
※メッシュ中継機またはメッシュ機能を利用しない中継機/子機として使用する場合は、手順④、⑤のみ実施してください。
1 クイック設定 Web を起動する (※裏面「クイック設定 Web の起動方法」)
2 管理者パスワードを変更する
「メンテナンス」→「管理者パスワードの変更」画面で、「現在のパスワード」欄に手順④でログインした初期値の管理者パスワード (Web PW) を入力し、「新しいパスワード」「新しいパスワード再入力」欄に左記「設置・接続をはじめる前に」で控えておいた管理者パスワード (任意の文字列) を入力して、「設定」をクリックしてください。
3 暗号化キーを変更する
ホーム画面に戻り、「Wi-Fi (無線 LAN) 設定」→「Wi-Fi 詳細設定 (5GHz)」画面で、「対象ネットワークを選択」にてプライマリ SSID を選択し、「[暗号化]」を開いて「[暗号化キー]」欄に左記「設置・接続をはじめる前に」で控えておいた暗号化キー (任意の文字列) を入力して、「[設定]」をクリックしてください。
4 STEP2 で Wi-Fi 接続した子機を手動で Wi-Fi 接続し直す
暗号化キーを変更することで、子機からの Wi-Fi 接続は切断されます。右記「暗号化キーを変更した GX621A1(KP)に Wi-Fi 接続する」を参照して、Wi-Fi 接続を直ししてください。
※暗号化キーは、変更した値を入力してください。
※OPTION ランプが緑点滅している場合は、本商品を再起動して強制 DHCP サーバ機能を停止してください。

メッシュネットワークを構築する場合

本商品 (メッシュ親機) のメッシュネットワークを構築する場合は、下記の手順で GX621A1(KC) を設置してください。

※メッシュ中継機には、GX621A1(KC) など、本商品のメッシュ機能に対応した機種を使用してください。
※GX621A1(KC)は、工場出荷状態でメッシュ中継機の設定になっています。

1 GX621A1(KP)とメッシュ中継機の接続設定をする (※裏面「メッシュ中継機として使用する場合は」)

2 設置したい場所に GX621A1(KC)を設置して、電源を入れる

※GX621A1(KP)の MESH ランプが緑点灯、GX621A1(KC)の MESH ランプが緑点灯することを確認してください。

3 GX621A1(KP)に Wi-Fi 接続した子機から、インターネットに接続できることを確認する

※子機を追加する場合は、GX621A1(KP)のネットワーク名 (SSID)、暗号化キーを子機に設定して Wi-Fi 接続してください。

以上で、設定は完了です。さらに詳細な機能をご使用になりたい場合は、製品サポートページに掲載の「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

STEP 2

工場出荷状態のGX621A1(KP)にWi-Fi接続しよう

★本書では、無線 LAN 端末を子機と呼びます。

工場出荷状態の GX621A1(KP) に、ご利用の子機から Wi-Fi 接続します。GX621A1(KP) のネットワーク名 (SSID) および暗号化キーをご利用の子機に設定してください。
詳細な Wi-Fi 接続方法は、子機の取扱説明書などを参照してください。

※チャンネルが W56 に対応していない子機をご利用の場合は、GX621A1(KP)の「オートチャンネルセレクト機能」を「使用しない」に変更して、「使用チャネル」を W52 または W53 のチャネルに設定してください。設定は、クイック設定 Web (※裏面「クイック設定 Web の起動方法」) の「Wi-Fi (無線 LAN) 設定」→「Wi-Fi 詳細設定 (5GHz)」画面で行ってください。
※工場出荷状態では、バンドステアリング機能が有効に設定されています。

2 2 台目以降の子機は、下記「暗号化キーを変更した GX621A1(KP)に Wi-Fi 接続する」を参照してください。

以下は Wi-Fi 接続方法の主な例です。

無線 LAN 設定用 QR コードで Wi-Fi 接続する

スマートフォン/タブレット端末によっては、標準カメラなどが QR コードによる Wi-Fi 接続に対応していない場合があります。その場合は、右記「手動で Wi-Fi 接続する」を参照してください。

無線 LAN 設定用 QR コード

Aterm GX621A1(KP)

スマートフォン/タブレット端末

手動で Wi-Fi 接続する

※以下は iOS 端末を主な例に説明しています。機種・バージョンにより異なる場合があります。

1 ホーム画面などから「設定」をタップする

2 [Wi-Fi] をタップする

3 [Wi-Fi] をオンにして、GX621A1(KP)のネットワーク名 (SSID) と同じ名前をタップする

※GX621A1(KP)のネットワーク名 (SSID) は、GX621A1(KP) 本体のラベルに記載されています。

4 [パスワード] に、GX621A1(KP)の暗号化キーを入力し、「[Join]」(または「[接続]」)をタップする

※暗号化キーとは、Wi-Fi 接続するためのパスワードです。セキュリティ キー、パスフレーズ、ネットワーク キーとも呼ばれます。

5 ステータスバーに下記のアイコンが表示されることを確認する

iOS 端末の一例

Android 端末の一例

以上で Wi-Fi 接続の設定は終了です。

無線 LAN 内蔵パソコンの場合 (Windows 10/8.1 の場合)

※Windows 8.1 の場合は、「スタート」画面で「デスクトップ」を選択してからはじめてください。

1 パソコンの無線 (ワイヤレス) 機能を有効にする

※設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。

2 通知領域 (タスクトレイ) にあるネットワークアイコンをクリックする

Windows 10 の例

3 ネットワークの一覧の中から、GX621A1(KP)のネットワーク名 (SSID) をクリックし、[接続]をクリックする

※GX621A1(KP)のネットワーク名 (SSID) は、GX621A1(KP) 本体のラベルに記載されています。

4 GX621A1(KP)の暗号化キーを入力して「[次へ]」をクリックする

※暗号化キーとは、Wi-Fi 接続するためのパスワードです。セキュリティ キー、パスフレーズ、ネットワーク キーとも呼ばれます。

5 ステータスバーに下記のアイコンが表示されることを確認する

iOS 端末の一例

Android 端末の一例

以上で Wi-Fi 接続の設定は終了です。

暗号化キーを変更したGX621A1(KP)にWi-Fi接続する

暗号化キーを変更した GX621A1(KP) に、ご利用の子機から手動で Wi-Fi 接続します。GX621A1(KP)のネットワーク名 (SSID) および STEP4 で変更した暗号化キーをご利用の子機に設定してください。(接続する子機は、20 台以下をお勧めします。)
詳細な Wi-Fi 接続方法は、子機の取扱説明書などを参照してください。
設定は、クイック設定 Web (※裏面「クイック設定 Web の起動方法」) の「Wi-Fi (無線 LAN) 設定」→「Wi-Fi 詳細設定 (5GHz)」画面で行ってください。

以下は Wi-Fi 接続方法の主な例です。

スマートフォン/タブレット端末の場合

※以下は iOS 端末を主な例に説明しています。機種・バージョンにより異なる場合があります。

1 ホーム画面などから「設定」をタップする

2 [Wi-Fi] をタップする

3 [Wi-Fi] をオンにして、GX621A1(KP)のネットワーク名 (SSID) と同じ名前をタップする

※GX621A1(KP)のネットワーク名 (SSID) は、GX621A1(KP) 本体のラベルに記載されています。

4 [パスワード] に、STEP4 で変更した GX621A1(KP)の暗号化キーを入力し、「[Join]」(または「[接続]」)をタップする

5 ステータスバーに下記のアイコンが表示されることを確認する

iOS 端末の一例

Android 端末の一例

以上で Wi-Fi 接続の設定は終了です。

無線 LAN 内蔵パソコンの場合 (Windows 10/8.1 の場合)

※Windows 8.1 の場合は、「スタート」画面で「デスクトップ」を選択してからはじめてください。

1 パソコンの無線 (ワイヤレス) 機能を有効にする

※設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。

2 通知領域 (タスクトレイ) にあるネットワークアイコンをクリックする

Windows 10 の例

3 ネットワークの一覧の中から、GX621A1(KP)のネットワーク名 (SSID) をクリックし、「[接続]」をクリックする

※GX621A1(KP)のネットワーク名 (SSID) は、GX621A1(KP) 本体のラベルに記載されています。

4 ステータスバーに下記のアイコンが表示されることを確認する

iOS 端末の一例

Android 端末の一例

以上で Wi-Fi 接続の設定は終了です。

STEP 3

インターネットに接続しよう

1 Web ブラウザ (Microsoft Edge、Internet Explorer など) を起動する

2 外部ホームページにアクセスする

(例) https://www.aterm.jp/kddi/gx621a1/

アクセスできれば、インターネットの接続は完了です。

インターネットに接続できない場合は

●GX621A1(KP)の設定画面で「クイック設定 Web」を起動し、「装置情報」に表示されているメッセージを確認してください。(※裏面「クイック設定 Web の起動方法」)

続いて、STEP4 へお進みます。

工場出荷状態のGX621A1(KP)のネットワーク名 (SSID) および暗号化キーは、GX621A1(KP) 本体のラベルに記載されています。

※暗号化キーとは、Wi-Fi 接続するためのパスワードです。セキュリティ キー、パスフレーズ、ネットワーク キーとも呼ばれます。

1 ホーム画面などから「設定」をタップする

2 [Wi-Fi] をタップする

3 [Wi-Fi] をオンにして、GX621A1(KP)のネットワーク名 (SSID) と同じ名前をタップする

※GX621A1(KP)のネットワーク名 (SSID) は、GX621A1(KP) 本体のラベルに記載されています。

4 [パスワード] に、GX621A1(KP)の暗号化キーを入力し、「[Join]」(または「[接続]」)をタップする

※暗号化キーとは、Wi-Fi 接続するためのパスワードです。セキュリティ キー、パスフレーズ、ネットワーク キーとも呼ばれます。

5 ステータスバーに下記のアイコンが表示されることを確認する

iOS 端末の一例

Android 端末の一例

以上で Wi-Fi 接続の設定は終了です。

無線 LAN 内蔵パソコンの場合 (Windows 10/8.1 の場合)

※Windows 8.1 の場合は、「スタート」画面で「デスクトップ」を選択してからはじめてください。

1 パソコンの無線 (ワイヤレス) 機能を有効にする

※設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。

2 通知領域 (タスクトレイ) にあるネットワークアイコンをクリックする

Windows 10 の例

3 ネットワークの一覧の中から、GX621A1(KP)のネットワーク名 (SSID) をクリックし、「[接続]」をクリックする

※GX621A1(KP)のネットワーク名 (SSID) は、GX621A1(KP) 本体のラベルに記載されています。

4 ステータスバーに下記のアイコンが表示されることを確認する

iOS 端末の一例

Android 端末の一例

以上で Wi-Fi 接続の設定は終了です。

無線 LAN 内蔵パソコンの場合 (Windows 10/8.1 の場合)

※Windows 8.1 の場合は、「スタート」画面で「デスクトップ」を選択してからはじめてください。

1 パソコンの無線 (ワイヤレス) 機能を有効にする

※設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。

2 通知領域 (タスクトレイ) にあるネットワークアイコンをクリックする

Windows 10 の例

3 ネットワークの一覧の中から、GX621A1(KP)のネットワーク名 (SSID) をクリックし、「[接続]」をクリックする

※GX621A1(KP)のネットワーク名 (SSID) は、GX621A1(KP) 本体のラベルに記載されています。

4 ステータスバーに下記のアイコンが表示されることを確認する

iOS 端末の一例

Android 端末の一例

以上で Wi-Fi 接続の設定は終了です。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただく注意事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。なお、さらに詳細な内容を「[ユーザーズマニュアル](#)」に記載しておりますので、そちらもあわせてお読みください。

本書中のマーク説明

- 警告**：人が死亡する、または重傷（※ 1）を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意**：人が軽傷（※ 2）を負う可能性が想定される内容、および物的損害（※ 3）のみの発生が想定される内容を示しています。
- お願い**：本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

※ 1）重傷：失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中重度または後遺症が残るものおよび入院や長期の通院を要するものをさしています。

※ 2）軽傷：治療や入院や長期の通院を要しないけが、やけど、感電などをさしています。

※ 3）物的損害：家屋、家財および家畜、ペットなどにかかわる拡大損害をさしています。

図記号の説明		
警告・注意を促す記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
 一般注意	 一般禁止	 一般指示
 発火注意	 分解禁止	 電源プラグをコンセントから抜く
 感電注意	 めし手禁止	
 高温注意	 水ぬれ禁止	
 破裂注意	 風扇等の使用禁止	 火気禁止

警告

電源

- 100V AC の家庭用電源以外では使用しないでください。また、差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。
- AC アダプタは、たこ足配線にしないでください。

- AC アダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。
- AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。

- 本商品に添付の AC アダプタは日本国内 100V AC (50/60Hz) の電源専用です。他の電源では使用しないでください。
- AC アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。また、AC アダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご利用ください。
- AC アダプタをコンセントに差し込んだ状態で、AC アダプタに強い衝撃や無理な力を与えたり、なったりしないで、まっすぐ抜き差ししてください。特に、回転式の抜き差し型コンセントへ抜き差しする場合には、無理な力をかけないように注意してください。

こんなときは（本体および AC アダプタ）

以下の場合には、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。お客様による修理は危険です必ず絶対におやめください。また、c、d、e のような使いかたはしないでください。

- 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のとき
- 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線など）のとき
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらしたとき
- 本商品の通風孔などから差し込みに金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落したりしたとき
- 本商品を落したり破損したとき

禁止事項（本体および添付品）

- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システム）では使用しないでください。
- 本商品を分解・改造しないでください。

- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。
- 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストブローなど、可燃性ガスを使用したりスプレーを使用しないでください。

その他の注意事項（本体および添付品）

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。
- 風扇場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。

注意

設置場所（本体および添付品）

本商品を設置する際は、周囲に十分なスペースを確保してください。また、設置の際は、以下のことにご注意ください。

- 本商品は温度 0 ～ 40℃、湿度 10 ～ 90％の結露しない環境でご使用ください。
- 本商品を重ね置きや横置きしないでください。

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。
- 通風孔をふさがないようにください。次のような使いかたはしないでください。
 <悪い例>
 ・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 ・じゅうたんや布類の上に置く
 ・テーブルクロスなどを掛ける

電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず AC アダプタ本体を持って抜いてください。
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に 1 回程度）に取り除いてください。
- お手入れの際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中や使用直後に AC アダプタが高温になる場合があります。

禁止事項（本体および添付品）

- 本商品に乘らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器を接続したりしないでください。

その他の注意事項（本体および添付品）

- 本商品は動作中に高温になる場合があります。本商品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。
- 使用中は本商品が熱くなることがありますが、手で触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし、長時間触れたまま使用しないでください。低温やけどになることがあります。
- 取扱説明書にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

お願い

設置場所（本体および添付品）

- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となる場合があります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。
- 本商品と子機の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。

禁止事項（本体および添付品）

- 本商品の電源を入れたあと、すぐに電源を切らないでください。60 秒以上の間隔をあけから電源を切ってください。すぐに電源を切ると故障の原因となることがあります。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入ると電源が入らなくなることがあります。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本商品間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容が盗み見られる
 悪意ある第三者が、電波を盗聴に受ける。
 ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
 メールの内容
 等の通信内容が盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内ネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
 特定の人物にのみアクセスを制限し、不正な情報を盗取す（なりまし）
 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
 コンピュータウイルス等を流しデータやシステムを破壊する（破壊）
 等の行為がされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。また、無線 LAN の仕様に沿って使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することを推奨します。セキュリティ対策をどこまで、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、本商品の暗号化キーは初期値から変更してください。変更は、クイック設定 Web で行います。暗号化キーは「Wi-Fi 詳細設定」の画面で変更してください。

自動バージョンアップ機能・保守サービス機能に関する許諾について

- 自動バージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。本機能に関して許諾いただけない場合は、機能を無効にすることができます。
 なお、本機能は、クイック設定 Web から下記のように設定することができます。（※ 右記「クイック設定 Web の起動方法」）
 【更新があったら、すべて（バージョンアップする場合）（工場出荷時の設定）】
 「メンテナンスバージョンアップ機能」：ON
 「時刻指定バージョンアップ機能」：ON
 【重要な更新のみバージョンアップする場合】
 「メンテナンスバージョンアップ機能」：ON
 「時刻指定バージョンアップ機能」：OFF

- ※「メンテナンスバージョンアップ機能」はクイック設定 Web の「基本設定」→「基本設定」画面、「時刻指定バージョンアップ機能」はクイック設定 Web の「メンテナンス」→「フレームウェア更新」画面にて設定できます。
- ※「時刻指定バージョンアップ機能」では、自動的にソフトウェアを更新し、機能追加/変更を行います。意図しない機能追加/変更の更新を行いたくない場合は、「時刻指定バージョンアップ機能」を「OFF」（重要な更新のみバージョンアップする）に変更することもできます。
- ※自動バージョンアップ機能が実施されると、再度の設定や操作が必要となる場合があります。
- ※「重要な更新」には、NEC プラットフォーム株式会社（以下「当社」とします。）が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必要となる場合（例えばセキュリティ上の不具合を改善するソフトウェアの更新など）を示します。重要な更新がある場合は、事前に製品サポートデスクの「製品に関する重要なお知らせ」にてご案内します。
- 自動バージョンアップ機能が実施されると、本商品が再起動するかも、それと接続していた通信が切断されます。また、従量制課金契約の場合、ソフトウェアダウンロードによる通信費用や、パケット通信超過による速度制限が発生する場合があります。発生した通信費用はお客様ご負担となります。

本機能では、本商品に関する機器情報・ネットワーク情報を当社が運用するサーバへ通知します。これらの情報は、本機能の実現と本商品や本機能の改善・向上のためだけに利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましても、当社の取り扱い手続きに同様の適切な管理を実施します。

本機能は、工場出荷時に有効（ON）になっています。本機能に関して許諾いただけない場合は、クイック設定 Web で機能を無効（OFF）にしてください。（「メンテナンスバージョンアップ機能」を「OFF」にする上、「時刻指定バージョンアップ機能」も自動的に「OFF」になります。）ただし、本機能を無効にした場合、重要なソフトウェアの更新（例えばセキュリティ上の不具合を改善する更新など）であっても、自動的にバージョンアップは行いません。必ず、お客様が「手動」でバージョンアップを行ってください。

- 保守サービス機能は、本商品に対してインターネットを介して保守を行う機能です。
- 保守サービスの際には、必要な量の機器情報・ネットワーク情報/当社の運用するサーバへ通知されます。また、クイック設定 Web で表示される情報が当社に開示されます。これらの情報は、保守サービスのためだけに利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましても、当社の取り扱い手続きに同様の適切な管理を実施します。本機能に関して許諾いただいたあと、本機能が利用可能となります。
- ※保守サービスの内容などは予告なく変更させていただく場合があります。

電波に関する注意事項

- 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- ※本商品は IEEEB02.11ax の Draft 準拠製品です。現行の技術基準に則り、技術基準適合証明を取得しています。
- ※Draft IEEEB02.11ax（5GHz 帯）、IEEB02.11ac、IEEB02.11n（5GHz 帯）、IEEB02.11a 通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用してください。約 40 秒待つ必要があります。5.2GHz 帯域での電波は電波法により禁じられています。
- ※5GHz 帯で使用するチャネルは 36,40,44,48ch（W52）と 52,56,60,64ch（W53）と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch（W56）です。従来の IEEEB02.11a で使用の 34,38,42,46ch（U52）の装置と IEEEB02.11a モードでの通信はできません。
- ※W52（5.2GHz 帯/36,40,44,48ch）、W53（5.3GHz 帯/52,56,60,64ch）、W56（5.6GHz 帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）が利用できます。
- ※J52 J52 J53 J56

5GHz 帯で接続する子機は、以下の表示があるものを推奨します。

- W52（5.2GHz 帯/36,40,44,48ch）
- W53（5.3GHz 帯/52,56,60,64ch）
- W56（5.6GHz 帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）

- W53（52,56,60,64ch）または W56（100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。

- 各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー検出を行いますので、その間は通信を行えません。
- 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- ※Draft IEEEB02.11ax（5GHz 帯）、IEEB02.11n（2.4GHz 帯）、IEEB02.11g、IEEB02.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、その電波数値では、電子レンジなどの家電・科学・医療機器のほか、他の同周無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用屋内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
- (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- (3) その他、電波干渉の事故が発生し、お困りの場合にあてば場合には、お問い合わせ先にご連絡ください。

- Bluetooth 機器との通信はできません。
- ※Draft IEEEB02.11ax（2.4GHz 帯）、IEEB02.11n（2.4GHz 帯）、IEEB02.11g、IEEB02.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回遊可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、干渉距離は 40m です。

2.4 DS/OF 4	2.4
IEEB02.11b/g/n	DS/OF：DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
Draft IEEEB02.11ax	4：想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
	■■■■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域が回遊可能であることを意味する

- ※本商品は、クラス B 帯で使用し、チャネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人 電波産業会の A1B1 規格により下記内容が推奨されています。
 「この電波を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャネル設定として CH1,CH6,CH11 のいずれかにすることを推奨します。」
 ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の 1.6,11ch 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。（使用チャネルの設定方法は「[ユーザーズマニュアル](#)」を参照してください。）
- デュアルチャネル、クワッドチャネルを利用する場合は、同一周波数帯を使用する他の無線局に対して干渉を与える可能性があります。デュアルチャネル、クワッドチャネルを「使用する」に設定する場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に確認してください。
 ・万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに「使用しない」に設定を変更してください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 規格です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI－B

高調波電流抑制対策について

高調波電流抑制 品S C 61000-3-2 適合品
※消費電力 75W 以下のため適合

本商品本体のラベルに記載の図記号説明

―――：直流

本商品で使用するソフトウェアについて

本商品には、GNU General Public License（GPL）または GNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL または LGPL にしたがひ、複製、頒布および改変することができま。詳細は「[ユーザーズマニュアル](#)」を参照してください。

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、弊社一切責任を負いません。また、弊社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。本製品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お問い合わせ先にご相談ください。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複製することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については完全を期して作成いたしましたが、万一ご不善な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を造るために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。セキュリティ対策をどこまで、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
- せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や雷電など）により故障してしまつては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

トラブルシューティング

ご利用にあたり、考えられる代表的なトラブルとその対処を下記に記載します。

※ 解決しない場合は、本商品を初期化（※ 下記「初期化方法」）し、はじめてから設定し直してお試しください。

- CATV（ケーブルテレビ）回線を使用しているが、ACTIVE ランプが点灯せず、インターネットに接続できない
 ご使用のモデムによっては、過去に接続したネットワーク機器の MAC アドレスを記憶しているため、モデムの設定をリセットする必要があります。本商品、モデムの順番で電源を入れ、しばらくしてから電源を入れ直します。詳しくは、ご利用のケーブルテレビ会社へご確認ください。

- ACTIVE ランプが橙色に点灯している
 故障や通信エラーではありません。ブリッジモード（ルータ機能停止）で動作している状態です。（本商品をメッシュ中継機またはメッシュ親機を利用しない中継機／子機として使用する場合は、親機と 5GHz 帯の Wi-Fi で接続している状態です。）

- クイック設定 Web が開かない
 ●ご使用のパソコンがプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。

- Web ブラウザの設定で JavaScript を無効に設定している場合は、有効に設定してください。
- IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してお試しください。

- ご使用のパソコンがプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。
- Web ブラウザの設定で JavaScript を無効に設定している場合は、有効に設定してください。
- IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してお試しください。

- ご使用のパソコンがプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。
- Web ブラウザの設定で JavaScript を無効に設定している場合は、有効に設定してください。
- IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してお試しください。

- ご使用のパソコンがプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。
- Web ブラウザの設定で JavaScript を無効に設定している場合は、有効に設定してください。
- IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してお試しください。

初期化方法

うまく動作しない場合や工場出荷状態に戻したい場合は、下記の手順で初期化してください。管理者パスワード、暗号化キーは初期値に戻り、お客様にて設定した内容は消去されます。なお、初期化する前に、クイック設定 Web（ホーム画面）の「メンテナンス」→「設定値の保存と復元」にて現在の設定内容を保存すれば、初期化後に同画面にて復元することができます。ただし、管理者パスワードは復元できません。

- ※ 初期化後、本商品をより安全にお使いいただくために、GX621A1(KP) の場合は管理者パスワード、暗号化キーを、GX621A1(KC) の場合は管理料/パスワードを初期値から変更してください。（※STEP4）
- ※ GX621A1(KC) の場合は、初期化後、GX621A1(KP) とメッシュ中継機の接続設定をしてください。（※「メッシュ中継機として使用する場合」）

- 本商品の POWER ランプが緑点灯していることを確認する
 ※電源を入れた場合や電源を入れた直後の場合は、約 40 秒お待ちください。
- RESET スイッチを細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの、つまようじの先など。）で押し続け、POWER ランプが赤点滅をはじめるら放す
 ※POWER ランプが赤点滅をはじめるまで約 6 ～ 10 秒かかります。

- 約 40 秒待つ
 ※前面および後面（表）のランプが一齐に緑点滅したあと、POWER ランプが緑点灯したら初期化が完了します。本商品が起動するまでしばらくお待ちください。

RESET スイッチ

本商品の設定を変更する場合は

本商品の設定を変更する場合は、設定画面「クイック設定 Web」で設定します。

クイック設定 Web の起動方法

- ブリッジモード（ACTIVE ランプ：緑点灯）で使用する場合
 下記の手順で起動してください。詳細な方法は「[ユーザーズマニュアル](#)」を参照してください。
 ①本商品の電源をいったん切る
 →本商品の SET ボタンを押しながら電源を入れ、OPTION ランプが緑点滅したら放す
 →本商品の電源（DHP サーバ機能）が起動します。起動中は OPTION ランプが緑点滅します。
 ③Web ブラウザのアドレス欄に「http://192.168.1.210/」を入力して起動する
 ※強制 DHP-OP サーバ機能を停止するときは、本商品を再起動してください。（ホーム画面の「メンテナンス」→「再起動」画面で「再起動」をクリックしてください。）
- メッシュ中継機（MESH ランプ：緑点灯または緑点滅）として使用する場合、またはメッシュ機能を利用しない中継機／子機（OPTION ランプ：緑点灯または緑点灯）として使用する場合
 起動方法は「[ユーザーズマニュアル](#)」を参照してください。

※ ログイン画面が表示された場合は、「[ユーザー名]」には「admin」と半角小文字で入力し、「[パスワード]」には管理者のパスワードを入力して、「[ログイン]」をクリックしてください。管理者/パスワードは、本商品本体のラベルに記載された英数字 8 桁のパスワード（Web PW）が初期値となります。この管理者/パスワードは、初期値から変更してください。（※STEP4）なお、管理者/パスワードを変更した場合は、クイック設定 Web 起動時に変更したパスワードを入力してください。忘れた場合は、本商品を初期化すると（※ 左記「初期化方法」）、本商品本体のラベルに記載された英数字 8 桁のパスワード（Web PW）に戻ります。

※ クイック設定 Web で設定した内容は、「[設定]」をクリックすることで登録されます。

- 本商品と同一のネットワークに Wi-Fi 接続したスマートフォン/タブレット端末をご利用の場合（「Aterm シリーズ」アプリ（無料）でも起動することがあります。「[ユーザーズマニュアル](#)」）
- 本商品と同一のネットワークに Wi-Fi 接続または有線接続したパソコン（Windows）をご利用の場合
 →「[Aterm 検索ツール]」でも起動することができます。「[ユーザーズマニュアル](#)」

ブリッジモードで使用する場合は

別途ご利用のルータまたはルータ機能内蔵のホームゲートウェイなどに本商品を接続する場合は、ブリッジモード（ルータ機能停止）を使用します。ブリッジモードに設定するには、下記の手順で設定してください。

- 本商品の電源を切った状態で RT/BR/MA モード切替スイッチを BR 側に切り替え、本商品の電源を入れる
 ※しばらくして ACTIVE ランプが緑点灯すれば、ブリッジモードに設定完了です。
 ※ ルータ機能が搭載したホームゲートウェイなどのと接続には、本商品の WAN/LAN ポートをご使用ください。

※ STEP4 を参照して、本商品の管理者/パスワードと暗号化キーを初期値から変更する

RT/BR/MA モード切替スイッチ

- STEP4 を参照して、本商品の管理者/パスワードと暗号化キーを初期値から変更する

メッシュ中継機として使用する場合は

本商品をメッシュ中継機として使用する場合は、メッシュ親機との接続設定をしてください。
 ※メッシュ親機には、GX621A1(KP) など、本商品のメッシュ機能に対応した機器を使用してください。
 ※メッシュ親機がブリッジモードの場合は、必ずメッシュ親機をホームゲートウェイなどと接続した状態で行ってください。
 なお、ホームゲートウェイなどの種類によってはインターネット通信ができなくなる場合があります。その場合は、ホームゲートウェイなどの電源をいったん切つて入れ直し、手順④からやり直してください。

ここでは、LAN ケーブルを使用した設定方法を説明します。詳細な設定方法は「[ユーザーズマニュアル](#)」を参照してください。

- 本商品の管理者/パスワードを初期値から変更する
 ※ 初期値からの変更は、ルータモード（RT/BR/MA モード切替スイッチが RT 側）で行います。
 ※ 本商品に、ご利用の子機から Wi-Fi 接続して、STEP4 の手順④、⑤を実施してください。
- 本商品の電源を切った状態で RT/BR/MA モード切替スイッチを MA 側に切る

RT/BR/MA モード切替スイッチ

- 本商品（メッシュ中継機）の LAN ポートとメッシュ親機の LAN ポートを LAN ケーブルで接続する

LAN ポート

LAN ケーブル

メッシュ親機

- メッシュ親機の電源が入っていることを確認する
- 本商品の電源を入れ、約 120 秒待つ
 ※ 本商品の MESH ランプが 4 分以上緑点滅する場合は、本商品の電源をいったん切つて入れ直してください。
- 本商品の MESH ランプが緑点灯することを確認する
- 手順③で接続した LAN ケーブルを取り外す

メッシュ機能を利用しない中継機／子機として使用する場合は

本商品は、メッシュ機能を利用せずに、親機と子機の間で電波を中継（リレー）する中継機として使用したり、LAN ポートにテレビ、パソコン、ゲーム機などの端末を接続して子機（イーサネットコネクタ）として使用したりすることができます。メッシュ機能を利用しない中継機／子機として使用するには、下記の手順で設定してください。
 詳細な設定方法は「[ユーザーズマニュアル](#)」を参照してください。

※ 設定の際は、親機の近くに設定してください。なお、下記手順の親機は、Aterm シリーズを例にしています。

- 本商品の管理者/パスワードを初期値から変更する
 ※ 初期値からの変更は、ルータモード（RT/BR/MA モード切替スイッチが RT 側）で行います。
 ※ 本商品に、ご利用の子機から Wi-Fi 接続して、STEP4 の手順④、⑤を実施してください。